

捕獲事件記録

書記	檢察官	擔任評定官	拿捕船名 英國 怡和洋行所有 汽艇(船名不明) (新船名 昭南丸)	事件番號 第五九三號	受理年月日 昭和十八年八月十九日
龍田	中村	並谷			
滿抗議期滿了日	年終月日局	滿訴願期滿了日	拿捕シタル艦隊及指揮官	佐世保捕獲審檢所 南京警備隊司令	
昭十八年十二月六日	昭十八年十一月十六日	昭十八年十一月一日	拿捕セラル船舶長		

佐捕第十九號

昭和十八年九月一日
 佐捕甲第七二三號、三ヲ以テ檢察官ニ通知濟
 昭和十八年八月三十一日
 佐捕乙第七二三號、ニヲ以テ事件受理ノ件内閣ニ報告濟
 昭和十八年十一月十六日、其ノ處理ニ捕殺ト決定

昭和十八年三月拾日
 佐捕乙第八九七號
 此ニ決定スルニ於テ、三月十七日、確定セザル由内閣ニ報告濟

昭和十八年三月八日
 佐捕乙第八九二號
 此ニ決定スルニ於テ、三月八日、確定セザル由内閣ニ報告濟

昭和十八年三月八日
 佐捕乙第八九一號
 此ニ決定スルニ於テ、三月八日、確定セザル由内閣ニ報告濟

文書ノ標目	丁數	備考
送致書	一	
合中捕頭書	二	
海軍中尉上田廣衛聽取書	三	
海軍病院今津栄治ノ謄本	六	
調査書	八	
檢察官ノ意見書	九	
官報並ニ日本カイ久公告囑託書控	一〇	
檢察官ノ書面審理申請書	二	
檢察官(檢定書謄本送付報告書	三	
檢定書ノ謄本	一三	
檢定書ノ謄本及檢定書ノ謄本	一四	

左世呆浦獲審檢所

南京警備密英ノ大報四

英函 武庫 送 送 書

南京警備密英ノ大報四

南京警備密英ノ大報四

南京警備密英ノ大報四



一、拿捕船舶ノ要目 船隻拿捕ニ関スル調書

1. 船名
2. 船種
3. 寄附場所
4. 船主
5. 船長
6. 建造年
7. 船主ノ他業員ノ自籍住所氏名
8. 所有者

以上ハ軍ニ於テ最モ重要ナル調査シ居リクモ情報及資料等ニ依リ判明セリカバテリミシト

本官ハ支那方面艦隊司令長官ノ命ニ基ク南京警備隊司令

命ニ依リ前記船舶ノ調査シタリ

本官ハ前記船舶内ヲ搜索シタル結果、第一項記載ノ如ク敵

艦ヲ有スルコト明瞭ニシテ拿捕スベキモノナルコトヲ確認シ

隊司令ノ命ニ依リ之ヲ拿捕シタリ

八二

1. 臨檢拿捕ノ日 昭和十六年十二月八日
 2. 同 場所 中華民國南京港
 四、本官ハ當時船内ニ船舶書類、通貨有價證券、貴重品及
 載貨ノ有無ニ付調査シタルニ、之ヲ發見セズ

昭和十六年十二月八日

南京敬言備隊附

臨檢士官
海軍豫備少尉

上田 廣 衛

聽取書

其國怡和洋行所有汽船(船名不明)捕獲事件ニ付昭和十八年

七月二十八日 南京敬言備隊ニ於テ

評定官 澁谷八州夫ニ對シ 海軍中尉

上田 廣 衛 ノ爲シタル申供左ノ如シ

一 氏名ハ 上田 廣 衛

一 年齢ハ 當 三十年

一 職業ハ 南京敬言備隊附 海軍中尉

一 國籍ハ 日本

一 住所ハ 南京敬言備隊内

一 本官ハ昭和十六年十二月七日即チ大東亞
 戰爭勃發、前日 當南京敬言備隊附

上田 廣 衛 申行

海軍豫備少尉トシテ着任シ、爾来引續キ今日ニ至ル迄勤務シテ居リマス。本官ハ支那方面艦隊司令長官ノ命ニ基ク南京警備隊司令ノ命ニ依リ、昭和十六年十二月八日朝、當時南京及蓋湖ニ在港中、英國船ヲ臨檢シ同日ニシテ合手捕シタコトアリマス。

一、尙南京警備隊ニ於テハ豫備ネテヨリ英、米國等ニ屬スル各種權益其、他船舶等ノ所在、所有者、國籍及動靜等ヲ調査シテ居リマシテ、大東亞戦争用義セラルルヤ、本官ハ豫備ネテノ

第九號ノ一 日本標準規格B列四號

調査ノ結果ニ依リ前述ノ如ク英國船臨檢合手捕ニ當リテアリマス。

一、本件 英國 怡和洋行 所有汽艇(船名不明)ハ中華民國南京港ニ於テ當時 本官カ臨檢合手捕シタ船舶デアリマシテ、其ノ際ニ於ケル臨檢合手捕ノ手續及船舶ノ要目並ニ船舶書類、載貨、有無等ニ付テハ本件船舶合手捕ニ関スル調査記載、通りデアリマス。

一、本件汽艇ハ船名、怡和洋行即チ英國法、基キ設立セラルシ 英國倫敦ニ本店ヲ有ス。ジャードイン・マヂスン・アンド・カンパニー

リミテッド (Pardine, Matheson & Company Limited) トイフ英國籍人會社
 所有之屬シ、平素英國旗ヲ掲揚シテ
 揚子江等ニ於テ貨物輸送ニ從事シテ居
 本件汽艇ハ本官加臨検査捕シタル時
 載積ハナク、國旗モ掲揚シテハコケリマセ
 マシメ、尙其ノ汽船船名等モ見
 出サレマセザレタ
 一 本件汽艇、乗組多ク所有會社ノ職多ク
 ハ現在在内地方ニコケリマセ
 一 本件汽艇ハ昭南丸ト新船名ヲ附シ、目下在
 南京ノ華陽洋行ニ係下ケ使用セラルルニ居リマセ

右ハ書記之ヲ錄取シ本人ニ讀聞カセタルニ相違
 ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

佐世保捕獲審檢所書記

新田 廣 衛
 新田 廣 衛

通 事

申 供 者

上 田 廣 衛

漢口日本租界
 第五二〇號至第五六四號自第五一〇號至第五一五號捕獲事
 件ニ付昭和十七年十二月十八日漢口在勤海軍武官府ニ於テ評定官稻田
 騷ニ對シ海軍囑託今津榮治ノ爲シタル申供左ノ如シ

應 取 書

- 一 事件番號自第五二〇號至第五六四號自第五一〇號至第五一五號捕獲事
- 件ニ付昭和十七年十二月十八日漢口在勤海軍武官府ニ於テ評定官稻田
- 騷ニ對シ海軍囑託今津榮治ノ爲シタル申供左ノ如シ
- 一 氏名ハ 今津 榮治
- 一 年 齡 ハ 六 十 歳
- 一 職 業 ハ 海 軍 囑 託
- 一 國 籍 ハ 日 本
- 一 住 所 ハ 漢 口 市 日 本 租 界
- 一 私ハ昭和十三年以來漢口在勤海軍武官府ニ勤務シ主トシテ涉外事
- 項ヲ擔當處理シテ居リマス
- 一 私ハ大東亞戰爭ノ開戦日タル昭和十六年十二月八日ノ前後ニ且
- 上司ノ命ヲ承ケ漢口及其ノ附近ニ所在スル敵國又ハ敵性國ノ資産
- 關係及諸權益等ニ付調査シタコトガアリ且平素ノ擔當事項ト相俟
- テ其ノ當時ニ於ケル在支外國會社ノ國籍内容等ヲ相當詳シク知ツ

テ居リマス

太古洋行トイフノハ華名デ本名ヲ「ベツターフィールド・アンド・スウアイヤー」(Butterfield & Swire)トイヒ英國法ニ基キ設立セラレタル英國籍會社デ本店ハ英國倫敦ニ在リマシテ其ノ東洋ニ於ケル總本部ヲ香港ニ置キ上海、漢口等ニ支店ヲ置イテ居リマシタ

亞細亞火油公司 (漢口)

亞細亞石油公司 (九江)

亞細亞煤油公司 (鎮江)

トイフノハ何レモ「アジアチック・ペトロリウム・カンパニー」(ノース・チャイナ)リミツテツド」(Asiatic Petroleum Company

(North China Limited)ノ華名デアリマシテ本來同一會社デ

アリマス此ノ會社ハ英國法ニ基キ設立セラレタル英國籍會社デ本店ハ英國倫敦ニ在リ漢口、九江、鎮江等ニ支店ヲ置イテ居タノデスガ其ノ支店ニ付テハ所在地ニ依リ少シツフ華文名稱ヲ違ヘテ居

前邊ノ如ク亞細亞火油公司 (漢口)、亞細亞石油公司 (九江)、亞細亞煤油公司 (鎮江)、トイフモ元來同一會社デアルコトハ相違無イノデアリマス

怡和洋行トイフノモ華名デアリマシテ本名ヲ「ジャードイン・マヂスン・アンド・カンパニー」(Jardine, Matheson & Company Limited)トイヒ英國法ニ基キ設立セラレタル

英國籍會社デアリマシテ本店ハ英國倫敦ニ在リ上海、漢口等ニ支店ヲ置イテ居リマシタ

美孚公司ハ「スタンダード・ヴァキウム・オイル・カンパニー」

(Standard Vacuum Oil Company)ノ華名デアリマシテ此ノ會社

ハ英國法ニ基キ設立セラレタル英國籍會社デアリマシテ本店ハ英國紐育ニ在リ上海、漢口、九江等ニ支店ヲ置イテ居リマシタ尙同會社ハ「スタンダード石油會社」ト稱ブコトモアリマス

以上四會社ノ職員タル米、英國人等ハ開港當時頃逃亡シ或ハ本國ニ引揚ゲタリ時ニテ現在漢口附近ニハ一人モ居ツテ居リマセヌ

右ハ書記之ヲ錄取シ本人ニ讀開カセタルニ相違ナキ旨陳述シタルニ依
リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

田 益 光

佐世保捕獲審檢所書記

田 益 光

申 通

津 島 治

右證事也ハ事件番號第五二〇番案書凡港捕獲事記簿ニ編綴ノ原
本ニ據ル之ヲ作成ス

昭和十八年八月十九日



新田家光



佐捕乙第七三號

調 査 書

事号五九三

英國怡和洋行所有汽艇(船名不明 昭南丸)捕獲事件ニ付事實ノ調査ヲ

了ヘタルヲ以テ之ガ取調書類ハ拿捕シタル艦船部

隊指揮官ノ供述書ト共ニ別冊記録ニ編綴致置候條

供述書ノ附屬書類相添ヘ別冊記録及送付候

昭和十八年九月六日

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

田 益 光

佐世保捕獲審檢所檢察官

御 中

本件ニ付昭和十八年九月二十五日佐捕乙第七六六號ヲ以テ内閣印刷局
官報部官報係竝ニ「日本タイムス」社ニ左記要領ノ公告掲載方ヲ囑託
シタリ

昭和十八年九月二十五日

佐世保捕獲審檢所

記

本件船舶ハ帝國海軍ノ爲拿捕セラレ當該ニ於テ審檢ヲ爲スニ依リ和
審關係人ハ公告ノ翌日ヨリ起算シテ三十日以内ニ書面ヲ以テ當該
訴願スルコトヲ得
右公告ス

昭和十八年十月二日ノ官報竝ニ「日本タイムス」ニ公告掲載



申請書

捕獲事件第五九之號汽艇舊名不記新名以南丸

右事件ニ付利害關係人ヨリ法定期間内ニ訴願書ノ提出
ナキヲ以テ審問ノ手續ヲ爲サス直ニ檢定相成度候也

昭和十八年十一月十六日

佐世保捕獲審檢所檢察官



佐世保捕獲審檢所長官 杉浦忠雄 殿

第五九三號

報 告 書

本件檢定書附本へ昭和十八年十一月十六日當座檢査官ニ
送付シタリ

昭和十八年十一月十六日

佐世保捕獲毒檢所書記

山下久



11

佐捕乙第

八九〇 號

(事件第 五九三 號)

汽艇新名昭南丸
 右ハ別紙檢定書ノ通捕獲ト檢定相成確定致候條貴廳ニ於テ相當海
 軍官衙ニ執行トシテ引渡相度捕獲審檢令第三十條ニ依リ此段及
 囑託候
 追而引渡ノ上ハ受領者ヨリ別紙受領書ヲ徴シ回送方御取計相成
 度候

昭和十八年十二月八日

佐世保捕獲審檢所

檢察官

佐世保鎮守府司令長官

小松 輝久 殿

10

事件番號第 五九三 號

本件ニ付昭和十八年十二月十日佐浦乙第八九五號ヲ以テ内閣印刷局官報部官報課ニ該檢定ハ昭和十八年十二月七日確定シタル官報載万囑託ヲ為シタリ

昭和十八年十二月十日

佐 社 保 押 録 部 檢 所

昭和十八年十二月十七日官報掲載

Faint, illegible text on the right page, possibly bleed-through or ghosting from the reverse side.

首尾検査官

受領書

(事件第五九三號)

昭和十九年四月三十日受

汽艇新名昭南丸

右捕獲事件檢定確定ノ上執行トシテ引渡ニ付檢定書ノ謄本ト共ニ
受領致候

昭和 年 月 日

海軍省兵備局長

佐世保捕獲隊檢所

檢察官 徳永 榮吉 殿

日本書紀卷之六

三十一

皇極經世一書

皇極經世

(卷之六)